

関西国際空港

中央ポンプ場改築更新事業

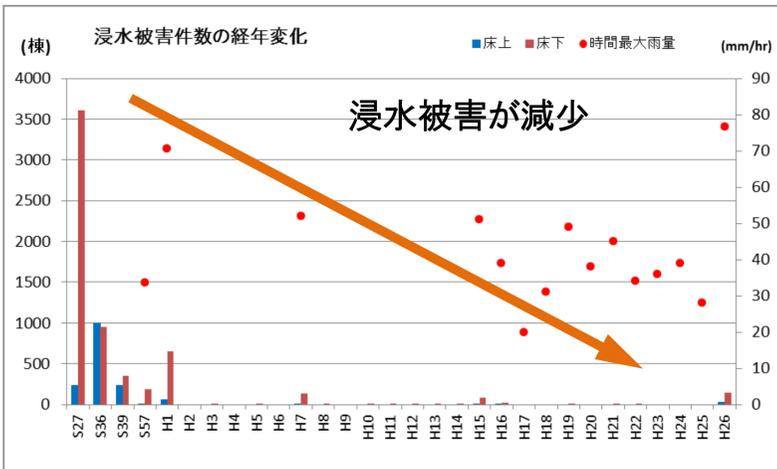
中央ポンプ場

下水道が地域の経済活動を支える！

現在 now

将来 future

雨水ポンプ場などの整備効果



供用開始後
20年以上経過

中央ポンプ場
平成6年4月供用

ポンプ場整備後、浸水被害が減少

●平成元年9月大雨
時間最大雨量 71mm
総雨量 207mm



●平成26年10月台風
時間最大雨量 77mm
総雨量 173mm



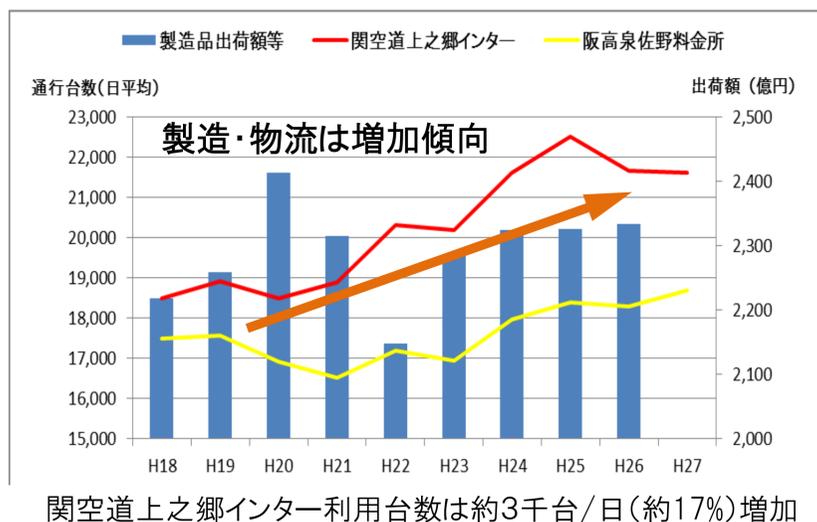
老朽化対策が必要

床上・床下浸水、道路冠水被害を防止するなど、雨水ポンプ場として適切に機能確保を図り、地域の生産・物流などの経済活動に寄与

平成38年完了予定

インフラ

地域



中央ポンプ場整備により浸水被害は大幅に減少したが、供用後20年以上が経過し、老朽化が著しく、長寿命化対策などの改築更新により適切に機能確保を図る必要がある。

浸水被害の減少により浸水安全度が向上し、良好な生産活動環境の構築に寄与。

浸水による製品・設備被害の他、道路冠水を未然に防止し、交通機能の安定化により、地域における生産・物流などの経済活動に寄与。